

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和3年度第1回西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会
開催日時	令和3年4月26日(月) 午後3時～4時35分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	瀧川光治、鈴木正敏、松尾寛子（リモート） 閑念勝代、春増勝利
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	—
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 笹倉邦好 教育部長 森脇達也 学校教育課教育研究室主幹兼室長 衣川正昭 幼保連携課長 正木万貴子 幼保連携課主査 山下秀華 幼保連携課（幼児教育センター）藤原幸恵 幼保連携課（幼児教育センター）前田玲佳 幼保連携課（幼児教育センター）鍵田梓
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	個人情報に配慮するため
協議又は協議事項	(1) 令和2年度就学前教育推進事業報告について (2) 令和3年度就学前教育推進事業計画について (3) その他
会議の記録（概要）	
発言者	内 容
事務局	1 開会 委員の出席は5名（内3名はリモート） 委員の交代及び事務局職員の異動を紹介
教育長	2 あいさつ
事務局	（資料確認） 委員の任期が5月31日までとなっていますが、引き続き就任いただきたいと思います。本日の協議もその前提で進めています。了承いただけますか。

各委員	了承します。
事務局	では、次の任期は本年6月1日から令和5年5月31日までとなります。どうぞよろしくお願ひします。 この後の進行は、委員長にお願ひいたします。
委員長	3 令和2年度就学前教育推進事業報告について事務局から説明をお願いします。
事務局	～令和2年度就学前教育推進事業報告について説明～ ・12月視察訪問の事後報告について ・資料1 令和2年度西脇市就学前教育推進事業視察訪問アンケート ・保育内容、特別支援についての感想、検討や課題点等について報告
委員長	資料1について意見交換をお願いします。
委員	今の取組が、良い歯車が回り始めているのではと感じています。具体的な声を聞き、現場の先生方の役に立っているということを感じますし、園の運営自体も質の向上という面から、学んだり気付いたことを取り入れたり、次へ生かす前向きな意見が多いと思ひました。そう考えた時にこの取組が、自己評価のペーパーだけで考えるのではなく、現場に出向き、実際に保育を見て行っているということが大事なのだと考えます。
委員	アンケートを見ると、自分の評価にもつながるのでドキドキもしますが、『参考になった』『やってみたら落ち着いた』『整理ができるようになった』等の内容に安心しました。ただ、もう少しゆっくり聞いてみたいという意見も多いので、時間の課題はあるのかと思ひました。コロナが落ち着き、ゆっくり話ができたらなと思ひばかりです。
委員	先生方が真摯に子ども達と向き合い保育をされている中、このようにしてはどうかという助言の一言で、先生方がハッと気付き、やってみようという行動につながるということにすごく感動いたしま

委員	<p>した。先生方が、保育をよくしようという気持ちが高いのだと感じました。</p> <p>実際に支援の内容を先生方とどこまで確認しながら、話ができたとというのは気になっていました。感想を見て、現場の先生の気付きにつながるお話ができたかなと思いますので、今年度はもう少しゆっくりお話を聞いて、担任の先生にも返していける時間がもてたらなと感じています。</p>
委員	<p>それぞれの先生が助言を生かし、子ども達のために実践をされているというのがアンケートから出てきたので、本当にいい取組であり、またその取組が良い方向に動き出しているのだなと感じられました。</p>
委員長	<p>委員の意見をまとめますと、全般的に良い方向で進んでいます。課題としては、時間的なことと事前に担任から提出された質問に対して、実際に参観した時の優先順位から当日の保育の話を先にした方が分かりやすいと思い助言すると、質問に対して少しあっさりになってしまったことでしょうか。これも、時間的な余裕や訪問回数という面で解消できればと思います。</p>
事務局	<p>4 令和3年度就学前教育推進事業計画について 事務局から説明をお願いします。</p> <p>～令和3年度就学前教育推進事業計画について説明～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2 年間スケジュール ・資料3 視察訪問希望調査 ・視察訪問の変更点 <p>①訪問の時間帯を午前・午後の3時間から、9時から15時又は終了時間は希望をとる。</p> <p>②保育参観・面談・保育内容や特別支援の助言の方法について希望をとり園のニーズに応じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各園の希望について説明
委員長	<p>まず日程や時間について、ほとんどの園が9時から15時の時間的ゆとりのある訪問を希望されていますので、対応していくというこ</p>

事務局	<p>とで、大丈夫でしょうか。(異議なし) では内容について説明をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4 令和3年度西脇市就学前教育推進事業自己評価 ・資料5 質問様式(保育内容・支援の必要な幼児について)
委員長	<p>委員に意見をいただきたい所が3点あります。まず1点目、まだコロナ禍が続く中で、仮に6～7月の1回目の視察訪問時に、緊急事態宣言が出ている状況であれば、昨年度同様どのような対応をしていくのかという点。これは11～12月の第2回視察訪問にも同じことが言えると思います。そして、それに絡んで2点目、状況によっては1回しか訪問できない可能性もあり得ますが、その場合自己評価の様式がこの枠組みでいいのかどうかという点。さらに2点目に絡んで3点目、自己評価の記入について、初年度(元年度)は、頑張っているところやAをつけられそうなところを3つ記入することから始めました。そして、2年目の昨年度は、頑張っているAの部分とチャレンジの部分の記入としたところ、結構細かく書かれる園が多かった。そうすると今年度3年目になりますので、自己評価の記入に対して園に任せてみるということを検討しています。</p> <p>まずは、1点目のコロナ禍で、緊急事態宣言が出ている時にどう対応するかというところについてお願いします。</p>
委員	<p>落ち着くかと思っていたらこの事態ですのでなかなか県境、府境を超えて行くということが難しいと思いますので、昨年度同様1回目は少し様子を見てからかと思います。オンラインでの開催も考えられますが、現場に行っただ方が話しやすいですし、お互いの負担を考えると対面が良いと思っています。</p>
委員	<p>今年度どうなるか分からないところがあるものの、園側の考えや捉えを尊重していく必要があるのかと思いました。例えば、視察訪問に対して保護者があまり良く思われないという状況もあると思いますので、そこは園と相談していく。ただそうすると行く園と行かない園が出てきてしまうので悩ましいところです。</p>
委員	<p>特別支援学校ということで、やはり感染症に弱いお子さんが校内にいるという心配があります。しかし、訪問園の対策がしっかりで</p>

	<p>きていけば大丈夫と管理職からも言われていますので、基本的には園の状況による判断ということになってくると思います。バランスが悪くなるかもしれませんが、希望の園に対して何ができるのかということで検討させていただこうと思います。</p>
委員	<p>小学校でも学校医から今回の変異株は感染力が強いので、人の往来を抑えるのが一番の効果だということを聞いています。もし、緊急事態宣言が延長され、6月まで続いている状況であれば検討した方がいいと思っています。</p>
委員長	<p>1回目の視察訪問が、6月28日から7月21日までとなりますが、人の往来という点で私は大阪府に住んでいますので、自分自身は感染対策等重々気を付けながら日々生活しているつもりではありますが、園の先生方に承諾いただけても保護者の方が外部からの訪問に対して保育の質を上げるためと言われても、不安な心情をお持ちになる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。緊急事態宣言が出た場合は、視察訪問をそのまま希望されるかどうか。そして、希望される場合は、保護者の方々に了解を得られそうかどうかを確認いただく必要があると思います。また、緊急事態宣言が出ていなかったとしても、日々感染者数に応じて、訪問が近づいてきた段階で各園に確認し、アンバランスになるかもしれませんが、できる限り園側と保護者の方々の思いを踏まえた形で進めていければというのが私の意見です。事務局としてはいかががお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>委員長が言われたようにアンバランスになるかもしれませんが、希望される園はできるだけ行き、2回訪問したいと思っています。状況を見ながら実施していきたいと思っています。</p>
委員長	<p>では、1回目の訪問については、そのように判断していきます。次に2点目、自己評価の様式や記入についてお願いします。</p>
委員	<p>評価の記入についてですが、恐る恐るというのではなくてきたように思いますが、なるべく記入の負担を増やさず、昨年くらいの感覚で、良いところとチャレンジしたいところを記入していけばうまくサイクルが回っていくかなと思います。</p>

委員	私も昨年同様でいいかと思います。昨年と同じやり方ですることによって、同じ内容でも昨年より少しプラスした園側の成長が見えてくるかと思っています。
委員長	基本的には昨年と同様に頑張っているところを中心に、プラスアルファとして今年度チャレンジしたいところを加えた記入とする。最低ラインだけ、どの園もクリアしていればよい。記入がたくさんな園（学年）はそれ以上削る必要もなく、昨年よりもバージョンアップし他の項目を意識して記入したいという園は任せていく。その一方で、担任の先生によっては記入に悩まれることもあると思います。そうなった場合、昨年の書き方のサンプル集の活用や、自園の令和2年度版を参考にすることもいいのではないのでしょうか
事務局	昨年視察訪問が1回になったことにより、実施状況であればA B C Dという評価ではなく、意識している・頑張っていることに○を書いてもらうように変更し、○のことに关して取組の状況を記入していただきました。A B C Dという評価なのか、○としていくのか意見をいただきたいです。
委員長	確かに、昨年と同様ということで、「○、そしてチャレンジ」というように考えていくか、「○の所がAですよ。チャレンジしていきたいところがBかCか」という初年度のA B C Dに戻すのもどちらもありますね。それについて、挙手いただいてもよろしいでしょうか？ 昨年同様○の方式か、初年度のようにA B C Dか、基本的に2択です。 ○方式 …委員長、副委員長、委員 A B C D…委員、委員
委員	昨年はコロナで動きがストップしていたというところでの○でよかったかなと。今年度はコロナと共にといいところに戻しますという理由が成り立つかなと思いました。
委員	A B C Dの評価は非常に難しく、それをやりだした途端に保育者や園が下を向いてしまう姿をたくさん見ているので、それはちょっとと思いました。国で第3者評価を作った時もそれで苦しんだ記憶があります。例えば、○と☆にして、頑張るところは☆、小学校

	<p>の通知表のように5段階でなく○と△のような感じです。△もプレッシャーがかかるので☆として「ここで輝きたい！」☆にしてくださいみたいな感じで2段階くらいにしたらいいのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>各委員の意見の本質は一緒だと思います。表記として、ABCD方式でいくのか、○と☆方式でいくのか、ABにするとどうしてもBというのが心理的にしんどい、下を向くということを言われていたので、昨年と基本的に変更はなく、表記の仕方はABではなくて○と☆で今年度はやっていこうと思います。事務局の方は、いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>○と☆だと皆さんの気持ちも上向きになりそうなので良いのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>星は星でも、委員に「ここを助けてほしい、困っています。」というところを★（黒い星）にしてはいかがでしょうか。実際自分達ができているところというよりは、助けてほしいと手を挙げてほしいですね。実際はABCのCになってしまうのですが、どうしてもという内容に★を、基本○と☆で結構ですという感じでやってみてはどうかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>新しいアイデアをありがとうございます。確かにそれがあると視察訪問時にどこを視点にこちらが話をさせていただければよいかが明確になると思います。是非取り入れていただければと思います。</p> <p>次に質問の様式について、資料5の意見がありましたらお願いします。私の方から事務局に確認が1つあります。初年度（元年度）は、質問事項を自由に記入いただいたと思います。それではざっくりし過ぎて書きにくいようでしたので、昨年度（2年度）の視察訪問では、①保育環境②言葉かけ③保育方法④その他の項目を提示して質問を記入いただきました。徐々に変化していきましたが、実際現場の声はいかがですか？</p>
<p>事務局</p>	<p>質問内容に関しては、例えば、おもちゃの数・動線や保育環境について、個々の子どもの落ち着かない、切り替えができてにくい子への言葉かけや支援等、項目に共通するものが多く感じます。質問に</p>

	<p>関しては、悩みや質問が5個も10個も出てくるような先生は、項目から一番聞きたいことに絞ってもらったり、一方でどのような質問をしていいか悩まれている先生には項目があることで頭に思い浮かびやすくなりますので、項目はある方がいいと思います。</p>
委員長	<p>今のようなことですので、まず保育内容については、この様式でいいでしょうか。</p>
委員	<p>同意します。</p>
委員長	<p>次に、支援の必要な幼児についての質問様式について</p>
委員	<p>基本的にはこれで十分かと思います。確認したいのですが、サポートファイルについて当日見せていただけるような状況かどうかです。今までサポートファイルを見ながら話をしたことがなかったので、その場で見て話しする方がより分かりやすく伝えられると思います。</p>
委員長	<p>事務局で調整可能でしょうか。</p>
事務局	<p>サポートファイルの調整は可能だと思います。サポートファイルに関しては、実際に詳しく教えてほしいという園もありますので、見ながら教えていただくのは喜ばれるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>では事務局からの説明と委員の皆様の意見をお聞きしたところも含めて、議題の4の今年度の計画、進め方というところが共通理解できてきたと思います。</p>
	<p>5 その他 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料6 令和3年度幼保交流研修会 ・カリキュラム研修について（入門編・中級編） ・小学校との接続・連携に向けた研修（スタート・アプローチカリキュラム） ・特別支援学習会について（就学に向けた支援）

委員長	<p>まず、私の担当であるカリキュラムはせっかく作ったのですが、十分に活用できていない部分もあるように思います。この市内共通カリキュラムについては、かなり細やかに子どもの意欲・心情・態度という育ちを想定しながら1年間どう子ども達にねらいを考えていくのかという視点で作成しています。この辺りの育ちの視点を生かしながらも10の姿、資質・能力という考え方が出てくる前に作成したものなので、10の姿も含めた今の要領や指針に絡めて話をさせていただこうと思っている段階です。カリキュラムのみの説明となりますと物足りなさやミスマッチさがあると思います。当時一緒にカリキュラム作成に携わってくださった委員はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>三木市でカリキュラムに実際にマーカーを引いて子どもの発達がここまでできた、今月はピンク色で来月は緑色という風に色分けをして使われている園がありました。実際に使い方例を提示してもいいのではないかと思います。また、委員長が言われていた10の姿や資質・能力というところをリンクさせていくことによって、作った時の思いはありますが、そのままだと古ぼけたような感じを与えてしまうかと思うので、そこに10の姿というところを加えていくといいのではないかと思います。</p>
委員	<p>委員が言われたように使い方例は大事かと思います。他市町の例であれば、カリキュラムの項目に子どもの活動を撮った写真を貼りこんでいくとか、事例を記入する等若い先生方にも分かりやすく、自分たちでカリキュラムを膨らませていく工夫をされていました。そのように実例があればいいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>今いただいたアイデアや知恵を含めて実際にカリキュラム研修の担当として、西脇市全体という視点から資料を作らせていただこうと思っています。その資料を委員の皆様にも確認いただいて「こういう例だったらいいな」「こんな例もあるよ」等サンプル・使い方例として2～3パターン位紹介ができるのであれば、それぞれの園に合ったやり方ができるのではないかと思います。事務局としては何か希望はありませんか。</p>
事務局	<p>まず入門編は、市内共通カリキュラムを初めて見る、手に取ったことがほとんどない先生方が対象です。策定から5年程経っていま</p>

	<p>すので、5領域も含めて初歩的な内容からでいいのではと考えています。中級編は、経験がある方だけでもカリキュラムをどう活用したらいいのか悩まれている方やミドルリーダー的立場からカリキュラムをどう捉えていくか、またそれを題材にして園で活用できるようつながっていけばと思っています。</p>
委員長	<p>その内容も含めながら資料を準備させていただこうと思いますので、委員の皆様には、作成後に確認・意見をいただければと思います。続いて、委員に担当いただく小学校との接続の研修について、小学校長の委員がいらっしゃいますので意見をお願いします。</p>
委員	<p>昨年度、しばざくら幼稚園の公開保育・研修に参加させていただいて、就学前教育でこんなことをしているのだということが、本当に手に取るように分かって、目から鱗が落ちるような感じでした。それも知らずに1年生で入学した時に小学校では無駄な巻き戻しをしてしまっているとすごく感じましたので、是非8月に予定されている研修にできるだけたくさんの小学校の先生が参加し、就学前教育を活かしていけるのも小学校に入ってから私達の責任だと思いますので保幼小の連携をここでしっかり図りたいと思っています。</p>
委員長	<p>今の話を受けて、8月末だからこそ見えてくる幼児期の姿や伝えたいこと等があれば教えていただければと思います。</p>
委員	<p>8月末なのでそろそろクラスが固まってきているいろんな相談していくというのが少しずつでき始める時期なのでそこを見ていただき、前回もそうだったのですが、就学前教育が自分達で主体的に学びに向かう力を大事にしているということを伝えたいと思います。</p>
委員長	<p>特別支援の観点から小学校との接続について意見をお願いします。</p>
委員	<p>基本的には特別支援の観点から言うと、障害の受容というところでは、「困っていたら相談を」という部分と、保護者理解の部分、要するに園が保護者に理解を求めたけれどつながっていかなかった子に対して、引き継ぎの仕方によっては小学校に入ってから大変になってしまうということ等、研修の時間が限られているので、そこまでの話になるのかというのはお任せします。</p>

委員	支援のお子さんに関しては、どんな支援がいいか、この部分はちゃんと聞いてほしいということ、保護者と園と学校が連携して初めてうまくいくのだという話は少し触れておこうと思います。それをやっておかないと、あけてびっくりになったり、伝えていても保護者の期待と違っていたり、いろんなことが起きがちなのです。
委員長	小学校の観点でというところで、学校教育課からお願いします。
事務局	昨年度はコロナ禍のため実施できませんでしたが、中学校ブロックごとに今年度は夏休み期間に小学校の先生方が自分の校区のこども園・幼稚園に参観に行くという計画を小中連携教育に位置付けています。それから、8月30日に開催されます公開保育についても小学校の先生方に参加していただき、昨年度十分にできなかった部分をぐっと前に進めていきたいと思っています。
委員長	委員にも研修をしていただけますし、カリキュラム・小学校との接続・特別支援とコロナ禍の状況はありますが昨年度よりもバージョンアップし、西脇市の就学前教育・保育のあり方が新たな展開を迎えていくと思います。 それでは、以上で本日予定していました協議事項を終了します。委員には円滑な運営に協力いただきありがとうございました。
事務局	最後に報告があり、文部科学省の幼児教育推進体制充実活用事業に公募し内定をいただいています。 4 次回開催予定 次回の会議の予定ですが、8月30日（月）午後3時から新庁舎で会議を予定しております。前期の視察訪問を踏まえて各園の取組状況について協議いただきたいと考えています。 閉会の前に教育部長よりご挨拶を申し上げます。
部長	あいさつ
事務局	7 閉会 以上をもって、本日の会議を終了します。